



2006年4月23日

セカンドハンド通信 NO.44

NPO法人セカンドハンド 本部事務局 〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18
TEL&FAX 087-861-9928 発行責任者・新田恭子
E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp http://www.eskimo.com/~2nd-hand/



韓国のNGOと協働!

「小指会」が支援する高校、建設着工!

セカンドハンド学生部「小指会」が建設支援する高校の建設が始まりました。この高校建設事業は韓国のNGOとの協働支援事業です。現在、カンボジアへの観光客は少し前の日本を抜いて韓国がトップ。近年カンボジアで活動する韓国のNGOも増えています。昨年末、韓国の団体からSen Sok高校建設支援の申し出があったため、今年1月にカンボジアでミーティングを行い、協働で支援することで合意しました。韓国はクリスチャン系3団体が連携して、今回初めてカンボジア支援を行うそうです。

建設する校舎は2階建て。小指会単独で支援を考えていた時点では1階建てでしたが、韓国と協働で行うのであれば2階建てにしてほしいと現地から要請があり、生徒数を考えると2年以内に新たな校舎が必要なのは明白だったため、2階建てを支援することになりました。建設総額は約800万円。そのうち約380万円を小指

会とセカンドハンドが負担します。05年春から集め始めた建設資金は4月現在、約230万円まで集まっています。8月末まで集める予定ですが、秋の新学期に間に合うように、そして夏に予定している交流事業(次頁参照)を開催するためにも、着工を早めました。カンボジアでの建設費は、基礎完了で15%、壁完成で15%というように建設段階によって支払いを行います。前半は韓国の団体が支払い、小指会は8月末まで募金活動を続けて支払いを行う予定です。(残額となる不足分はセカンドハンドが補います。)



Sen Sok高校。1階部分の壁ができてきました。これから2階建てになります。

【寄次ページへ続く】

田村町倉庫 東バイパス店 4/12にオープン!



田村町倉庫内の東バイパス店。

田村町倉庫の一角に店舗がオープンしました。セカンドハンドとしては初の郊外店です。駐車場を有するため、お車での来店が可能になりました。イベント等も企画していく予定です。ぜひお立ち寄りください!

お店番などのボランティアスタッフ募集

活動12周年を間近に 初パンフレットが完成しました

ようやく完成しました。何度も何度も練り直し、約2年半かけ、多くの方にご協力いただき、仕上がったパンフレットです。

ご寄付いただいた方には、送料無料でお送りします。郵便振替用紙のメモ欄に「パンフレット希望」とご記入の上、お振込みください。

*2部以上必要な方は、部数をお書きください。

平成18年度総会&12周年記念講演会のご案内

昨年度の活動報告と今年度の活動計画を決議する総会を開催します。総会后、引き続きカンボジアで女性の自立支援に携わっていた崔靖美さん(広島在住)の講演会を開催します。今年1月まで13年間生活していたカンボジアについて語っていただきます。

総会も参加自由ですが、講演会だけの参加も可能です。

日時:5月28日 10時~ 場所:サンポートホール高松内
詳しくは本部事務局までお問い合わせください。



「セカンドハンド」は、皆様からいただいた品物を販売し、収益金すべてを援助にあてる国際協力団体です。主にカンボジアに教育支援、自立支援、医療支援などをおこなっています。チャリティーショップや支部は無償で働くボランティアスタッフが支えています。店舗や倉庫は無料または格安でお借りするなど、皆様のあらゆる協力の上で成り立っています。「一人一人の力は小さくても、集まれば大きな力となる」セカンドハンドのモットーです。あなたも世界の誰かのために、ボランティアしてみませんか?

商品提供やご寄付など、支援して下さった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。

夏休みに 日・韓・カンボジア交流事業 開催予定

協働支援だけでなく、カンボジア、韓国、日本の学生で交流する機会をつくってはどうかというこちらからの提案に、韓国側の団体も大賛成し、今年の夏休みに交流事業を開催する方向で現在調整中です。1月末に着工すれば8月中旬には完成するため、交流事業は8月下旬を予定しています。韓国ではまだスタディーツアーは一般的でないため、今後ノウハウを提供していきながら実施に向けて準備を行う予定です。日本と韓国の団体がお互いの経験をシェアするという点でも意義のある事業になりそうです。

**スタディーツアー
参加者募集!**

Sen Sok 高校開校式に参加するほか、セカンドハンドの支援先視察、ホームステイなどを予定しています。

日程 8/17~28

参加費 16万円 (学生には半額8万円を助成)

参加資格 高校建設支援に協力した学生、教員

定員 15名

申込方法 参加申込書と作文を提出

申込締切 5/20

お問合せ & 申込先
セカンドハンド本部事務局



医療施設が完成しました!



お坊さんを呼んで小さな開会式を行い、セカンドハンドと支援者の皆様、患者さんの幸運、健康を祈りました。

ポチエントン空港にほど近いヘルスセンターが4/10に完成しました。引渡し直後、早速2人が出産し、新しい部屋で休んでいるとメールが届きました。

プノンペン市保健局が貧困地域で実施している保健医療プロジェクトに協力し、これまで3棟の医療施設建設や運営資金の支援を行いました。患者は、貧困状況に応じて低価格、または無料で受診や出産ができるようになっています。

カンボジア訪問 ~イメージから実感へ~

香川大学3年生 敦賀 一平

「お金が無い!」それが一番の問題点だった。

これはカンボジアを訪問しての感想ではない。僕個人の問題だ。1月下旬にツアー開催の話を受けたとき、「参加費用をどうしようか」ということが真っ先に問題となった。参加するか否かの選択肢は初めから僕の中には無かった。「話が来たら行こう」そう思っていた。普段やっている地道なボランティアが現地でのように役立っているのかを見なかった。

僕は昨年の秋からボランティアに参加し、バザー準備だけでなく、カンボジア学生と日本学生の交流事業にも関わらせてもらった。その中で実際にカンボジアの学生に会い、カンボジアの現状について生の話を聞くこともできた。それによって、たしかにイメージの中でのカンボジアはより鮮明になったし、カンボジアへの支援の必要性も実感できたつもりだった。しかし、それはまだつぎはぎだらけのカンボジア像であり、ボランティアによって支援した物資がどう使われているのか、医療施設や学校が実感としてどの程度不足しているのか、といったことなどがまだ想像しにくかった。たとえば、産婦人科でベッドの個数が足りないとは聞いていても、1つのベッドに違う家族の生まれたての赤ちゃんが2人も寝ていることや、分娩室で



ヘルスセンターの旧施設を訪問。毎月平均90人が出産するのに、ベッドはたったの6台でした。

同時に3人も出産していることなどは、想像すらしていなかった。このような、言葉では語りつくせないカンボジアの現状を見て感じて来ることができたことは、イメージに止まっていたカンボジアをより具体的にしてくれたし、今後のボラン

ティアに取り組む上でとても大きな動機付けになった。そして一人でも多くの人に伝えたいと思った。

また、今回のツアーは観光の要素が強いということで、普段のスタディーツアーに負けないくらい多くを学び、発見してこようといった意識を持ちながら僕は参加していた。貧しいスヴァイリエンと豊かなシエムリアップの生活風景を数日の間に見ることができて、カンボジア国内にある貧富の差を強く感じることもできたし、他NGOの依頼で届け物をした際には人脈作りの大切さを感じることもできた。また、少し気の利かない変わり者のドライバーからも地域間における物価の差や生活水準など多かれ少なかれ教わることもできた。そうした点で今回のツアーは後悔の無いとても有意義なものであった。



文具を贈呈する教員くん(右手前)

最後に、小指会の支援による建設中の高校を視察したときのことについて触れようと思う。「驚いた」というのが第一印象だ。これまで小指会の活動は直接的ではないにしろ、概要は知っていたし、休日を返上して街頭募金活動を行っていることも知っていた。高松の街角で、寒い日も雨の日も少しずつ集めたお金で今こうして立派なレンガ造りの校舎に変わり、もうじき入校する数百もの生徒たちに勉強の場が提供されようとしている。そう考えただけで、小さな協力がたくさん集まることの力強さを感じることもできたし、まだ屋根のない建設中の校舎には希望を見ることができた。これから入校する生徒が少しでもこの国を良い方向へ導いてくれれば、と願わずにはいられなかった。

☒ 誰もが将来の可能性を持っているはずなのに、それを試す機会(学校教育)が少ないことに不公平感を感じます。(匿名希望)

センターの女性たちが企画 出張プロジェクトが始動!

職業訓練プロジェクトとは

カンボジアでも最貧州といわれるスヴァイリエン州で実施している、女性の自立支援プロジェクト。指導者の育成、訓練センター建設、縫製技術指導、運営支援（設立から3年間）を行っている他、ここで作られた商品を定期的に輸入し、日本国内でも販売している。



村人の家を借りた訓練所。訓練生は16歳～35歳の女性たち。

「農村部に訓練を受けたいという貧しい女性たちがいるんです。遠いため通うことができないけど、助けたい」とセンターの指導者から話があったのは昨年のこと。家が遠い訓練生のために高松市からいただいた放置自転車を送ったが、その村はバイクでも小1時間はかかるので自転車で通うのは難しい。ここに女性の村長さんがいて、プロジェクト誘致に大変熱心だと言うので1月に会いに行った。「知識や技術は宝。

技術訓練は村の女性たちの可能性を広げる」と村長はじめ村人たちが訓練の開始を切望していた。

センターから村に通う交通費などを支援することを決め、今年3月から出張プロジェクトを開始した。センターから指導者2人がバイクで通い、月～金曜日の午後3時間指導している。出張プロジェクト1期生は16名。3月のツアー視察時には、女性たちが楽しそうに型紙の作り方を学んでいた。

Svay Riengの女性たちと過ごした4日間

山口県下松市 松尾 悦子

カンボジアに着いて2日目、暑さのせいで地に足が付いていないような中で、スヴァイリエン職業訓練センターへ到着。教室程の部屋にミシンを横並びに置いて仕事をしていた女性たちがニコニコと出迎えてくれた。2年前に高松で手織りを教えたシナもいた。

私が今回ツアーに参加しようと思ったのは、大切なセカンドハンドの資金で提供された織り機はどう使われているのかを確認し、さきおりに必要な40羽と50羽のソーコー（織り機の付属品）と自宅で作れるようにミニ手織り機をヤッカの仲間達で支援したいと思ったから。



丁寧に指導する松尾さん。（左から3番目）日本語とカンボジア語で会話が成立していました。

到着してすぐ、シナが日本から持ち帰った織り機の箱を取り出し、シルクの布を裂いて、縦糸を張って、日本語と英語と身振りです少しずつ進めていった。シナがよく覚

えていてくれて、他の女性たちに説明をしてくれたので、思いの外、伝わったのではないかな…と思う。シナが織り地で作った手提げバッグを見せてくれた。何とか商品にしたいという気持ちが伝わってきて、心から応援したいという思いである。



トレーニングセンターで2日間滞在した後、センターの2人の女性が旅に同行し、アンコール遺跡めぐりの後もホテルで夜遅くまで特訓を続けた。その熱心さに頭が下がる思いだった。

現実に女性達と手織りをして、日本人の好むような作品作りや市場調査などをともに、サンプル作りをしていこうと強く思った。何とか形にしていきたい。

松尾さん… 山口県下松市でフェアトレードショップ「ヤッカ」を主宰しつつ、マクラメ、さき織りの指導を行う。セカンドハンドの商品も協販販売している。

女性たちの変化

事務局 後藤 尚子

初めてスヴァイリエンを訪問したのは5年前。偶然だが、このプロジェクトの節目にカンボジアを訪問している。プロジェクト発足前のニーズ調査、センター完成と活動開始、そして今回が3度目の訪問。

村で訪問した家、女性たちの表情は今でも鮮明に記憶している。「仕事がなく、食べていくためのお金もない」とうつむき加減に語る彼女たちの目から希望は感じられなかった。どの家庭の状況も深刻で、ツアーメンバーは言葉を失っていた。

その女性たちが会うたびに綺麗になっている。自信をつけ、目の力が増し、今では指導者としての貴祿も感じる。環境が変わるとこんなにも人は変わるものかと驚かされたし、頼もしい女性たちに誇りも感じた。

指導者のテリーの結婚も嬉しかった。カンボジアでは、結婚は婿入りなので、貧しい女性は結婚が難しい。安定した収入を得られるようになり、結婚もできるようになったと聞いた。もともと綺麗な女性だったが、一段と美しくなったテリーに見とれてしまった。

このプロジェクトが女性たちの人生を変え、今度はその女性たちが新たな村の女性たちの人生を変えようとしている。



テリー、おめでとう!! ツアーメンバーが参列するはずだった結婚式。式の日程が変更し、出席できず残念!

昨年度もご寄付 ありがとうございます

昨年度にご寄付いただいた総額

が6,942,671円になりました。チャリティーショップの売り上げだけでは十分な支援活動ができないところ、皆様からのご寄付により、支援の幅を広げることができました。ご協力下さいました皆様に心からお礼申し上げます。今後も着実に実りある活動につながるよう努めて参ります。

指定なし	3,484,307円	医療支援	1,198,915円
教育支援	1,521,406円	緊急支援	134,043円
自立支援	107,500円	その他	496,500円

Second hand Official Supporter (SOS会員) を募集

安定した運営と支援活動を行うために、セカンドハンドを支える会員を募集しています。もちろん今まで通り、寄付したい時に自由な額をご寄付いただくことも出来ます。

【詳細】
p.8



倉庫オープン記念!

公開! 提供品売れ筋ランキング

今年1月倉庫がオープンしました。前回のニュースレターでお知らせしたとおり、今回の倉庫は有料でお借りしています。家賃の負担をできるだけおさえ、より良い支援ができることを目指していくため、今月倉庫の一部を店舗としてオープンしました。ご存知の通り、セカンドハンドの店舗商品は皆様からの提供品によって成り立っています。そこで今回は皆様からよくあるお問い合わせもあわせて、提供品についての特集を企画しました。

よくある質問FAQ

* 提供品はカンボジアに送られるのですか?

セカンドハンドでは日本で支援金に替え、現地のニーズに合った支援をすることがより良い支援だと考えていますので原則としてカンボジアに送ることはありません。日本の皆様に買って頂けるような品物の提供をお願いします。

* 使えるものは使って残りは捨ててもらえるのですか?

提供品の仕分けはボランティアの手によって行っています。状態の良いものでも折角頂いたものを処分するのは気がひけますし、かなりの手間がかかります。ゴミも高松市をはじめ各地で有料化しており、処分するにもお金がかかります。提供品を選ぶ際には「自分だったら買おうと思えるものかどうか」をひとつの目安にして頂けると助かります。

* 衣替えをして使わない衣類がたくさんあるのですが...

倉庫の保管スペースは限られていますし、長期間保管することによって傷む場合もあります。衣類や雑貨の提供はその季節の前をお願いします。受付期間はお問い合わせ下さい。

* 送料は無料になるのですか?

皆様の善意をできるだけ支援に充てたいと考えています。送料は提供して下さる方に負担して頂いています。

* 提供品は家まで取りにきてくれるのですか?

運搬等もボランティアの手によって行っていますので、原則としてそこまでできないのが現状です。店舗を閉鎖する、など大量の提供品が出る場合はお問い合わせ下さい。

売れ筋商品

1位 **型**の新しい女性用衣類 (新品に近い品質のもの)
流行のないオーソドックスな衣類

2位 **日用品**

洗剤、石鹸など、日頃よく使う消耗品は出したらすぐに売れます。そのため品不足になりがち。新品で余っている! というものがあれば、是非ご提供下さい!

3位 **贈答品の食器**

4位 **カバン** (状態の良いもの)

5位 **アクセサリ** (特にネックレス)

6位 **手作り廃油石鹸**

福岡県在住の主婦たちが定期的に送って来て下さっています。環境にもやさしく、汚れもよく落ちると大人気!

7位 **無地のタオル**

ある企業さんが提供して大量に下さったタオル。病院で働いている方が、「ちょうどこういうのが欲しかったの!」とたくさん買って行かれました。

だんとつ
トップ

8位 **靴**

状態の良いものは、フォーマル、カジュアル共に売れ筋です。新品に近い状態の靴でも、古いものには要注意! 履いて歩いたら靴が破れるということも...

～番外編～ **傘**

屋外のバザーで、雨が降ると必ず飛ぶように売れます。骨の折れていないもの、さび付いていないものをお願いします。

売れ残って困っているもの

- 型の古いもの (衣類、カバン、靴など全般)
- 男性用スーツ
- セットの揃っていない食器
- お土産雑貨 (置物、キーホルダーなど)



こんなものは提供できるのかな?と思われたらお気軽にお問い合わせ下さい。

●お問い合わせ先

セカンドハンド本部事務局
電話087-861-9928 (事務局担当者まで)

●提供品受付先

- 持ち込みの場合 **店舗**
- 郵送の場合 **田村町倉庫**
(〒761-8057 高松市田村町201-1)
月・水・金の曜日指定をお願いします。

※提供時のマナーは守って頂きますようお願いいたします。提供品の店頭放置はご遠慮下さい。

提供品が商品になるまで

①提供品が届く

全国からたくさんの提供品が届きます。



②仕分け

届いたダンボールを開けるのは楽しみな瞬間。衣類、食器、雑貨など、種類別に分けていきます。

倉庫スタッフから提供者の方へ



いつもご支援ありがとうございます。提供して下さい方のお陰で活動が成り立っています。できるだけきれいなものを送って下さるようお願いします。処分するのにもお金と労力がかかります。衣類は洗濯したものをお願いします。皆さまのご協力よろしく願います。



③値付け

慣れたボランティアスタッフが相談しながら値段を決めます。



④運搬

値付けされた商品は各店舗へ。



⑤店頭へ

セカンドハンドで使う欲しい物リスト

(随時ホームページでも掲載しています)

倉庫で

棚 (1段の高さが35cm程度で4段くらいのもの)、コンパネ、角材、塗料、台車、折り畳みコンテナ等

店舗で

商品陳列棚、ブロック、レンガ、試着室、防犯ミラー、等

事務所で

マジック、ホワイトボード用マーカー、コピー用紙、プリンターのインク、ガムテープ、封筒 (長形3号)、CD-RW、VHSビデオカセット、等

セカンドハンドからのメッセージ

いつも品物をご提供頂き、ありがとうございます。提供品をたくさん頂けるのは本当に有難いことですが、理想を言えば、提供品が集まらない、つまりみんながそれぞれ必要な物を使い切る世の中なのかも知れません。でも、実際は生活のあらゆる場面で「使えるけれど使わない物」は出てきます。セカンドハンドは、それを必要としている人によって頂くことで、物を無駄にすることなく、途上国のより良い支援に繋がたいと考えています。皆様のご協力を今後ともよろしく願います。

あなたがもしカンボジアの slam に生まれていたら、自分の置かれた状況を打開するために何をしていますか

あなたはこの問いに自分なりの答えを見つけることができるでしょうか。これは来日したカンボジアの学生と日本の高校生のディスカッションの場で出た質問です。昨年12月、香川県NPO提案型協働事業委託事業でカンボジアの学生4人を含む6人が来日、県内6校で交流しました。プログラムや事業の概要は前号のニュースレターでご紹介した通りです。

帰国前日のシンポジウムでは交流した各学校の生徒さんから「日本人もカンボジア人も人間的な違いはない」「言葉は関係なく協力しあっていい世界をつくっていきたい」などの言葉がありました。先生方や多くの皆さんの協力のお陰でカンボジアと日本の学生双方、そしてそれに関わったスタッフも多くの感動を共有することができました。



化学の授業に参加。カンボジアの学生は初めての体験でした。

交流事業をまとめた報告書は、4月末に完成予定！お求めの方は本部事務局まで。SOS会員には無料送付します！(→SOS会員についての詳細はP.8)

GOOD GOODS

カンボジア支援につながるフェアトレード商品
クロマー



日本人好みに開発した新色。スタッフも旅行時に愛用しており、日除けやタオル、ブランケット、風呂敷にもなる万能布として重宝しています。

(1162) ¥1,500

サイズ:180cm×90cm

素材:コットン100% 柄:チェック、ストライプ
色:茶色、モスグリーン(アイボリーとの混合)。
水色と白の混合。

4ケタの商品番号で御注文下さい。色はお問い合わせ下さい。

倉庫、東バイパス店の改装御礼！

今回もまた、多くの企業が無償で力を貸して下さいました！店内を見違えるように明るく塗ってくれたのは(株)丸新塗装。社長が当団体代表と同級生ということもあり、これまで1994年の田町店から、瓦町店、本部ビルと改装のたびに協力しています。デザイン工業(株)は道路から目につく看板を作成し、取り付けを。本部ビルの看板もデザイン工業さんからのプレゼントでした。細部の修理は通信送付のたび温かいメッセージとともにご寄付下さっていた(株)田中工務店が協力。長い間、倉庫を貸して下さいていた金丸水産乾物(株)の中村

さんは、先頭に立ち倉庫の棚作り、そして荷物の運搬にも尽力。そして最後に、今回の倉庫を御紹介して下さい、全体のリフォームを担当してくれたのが、(株)生活空間。

「できる範囲での協力」が、どれほど大きな力になっていく事か…。言葉では感謝しきれません。皆様のご協力で、また素敵な活動拠点が完成しました。ありがとうございます！



さすがプロ！あつという間の塗装で別世界に！
丸新塗装 <http://www.tosoya-marushin.jp>

SPECIAL THANKS <敬称略>

【店舗・倉庫】丸亀TMO推進協議会(丸亀店)、西川(福岡店)、富井(満濃町)、長嶋(田村町)【ニュースレター発送協力】三木中学校、その他多くの方々【寄付】香川/あいずし、柏、加藤博子、川野淑子、喜多條裕希、小西誠子、久保智枝、倉田眉貴子、(財)健康福祉センター、桜町中学校3年生、詩仙堂、関みどり、専光寺、大同ガス産業(株)、高松南ロータリークラブ、(株)田中工務店、田中浩一、のぞみ法律事務所、進井文代、原英子、久島茂子、古田裕子、袋田芳子、横井宏子、三木誠、三木佑二郎、溝淵広史、三谷範至、三原主幹、安原智江、山下真利子、山田美智子、吉田強、倫理法人、れおん、愛知/壁谷佳代、茨城/酒井はるみ、愛媛/安達隆子、大阪/KABOKO、黒田貞子、杉若良子、藤原和子、真下恵子、岡山/堤堅、神奈川/(株)アイティエスエス、阿部守、加藤健二、長山喜代子、岐阜/吉岡美紀子、京都/京都サポートハウス、高知/菊地裕子、埼玉/阿部守、鎌田重子、高倉恒三、静岡/(有)アルノア美輪、梶田美於、千葉/医療法人社団紫雲会千葉南病院、西村さち子、東京/大塚園子、マスマテリアル(株)柴崎安寧、徳島/饗場和彦、富山/ 荻浦いり弥、藤田康子、兵庫/河原敏博、福岡/草ヶ江幼稚園園児一同、グループしゃぼん、古賀邦雄、後藤キエウ、西田由美子、吉田治代、宮崎/文化茶屋深緑庵、中野、山口/村重加代子、YUCCA【その他】エビス紙料(株)、大山牧場、香川マツダ、コスモ商事(株)、佐川急便(株)、セカンドフット、瀧川国際交流協会、天勝(丸亀)、鏡郵便局、北海高校インターアクト部【印刷協力】アイニチ(株)

☒ 国を超えても互いに助け合って生きていかなければならない時代だと思えます。戦争をすることがないように、身近な協力を求め、活動の輪をこれからも広げて頑張ってください。(高松市 女性)

★「カンボジア&日本の学生交流事業」の報告書作成チームスタッフをご紹介します★

前号でご紹介した「カンボジア&日本の学生交流事業」の報告書を作成中です。取材から携わり、報告書作成に取り組んでいる皆さんに聞いてみました。



<市太>

派遣社員

報告書作成メンバーとして、高校生に限らず様々な年代の方に、カンボジアの現状を伝え、関心を持って頂ければ嬉しいのです。カンボジアに限らず、国際協力を身近に感じ、人への思いやりの気持ちを思い出してもらいたいです。



<奥村>

派遣社員

報告書作成をお手伝いさせていただきながら支援国について理解を深めたいと考えています。皆さんと共に国際協力、そして日本のあるべき姿を考えていけたらと思っています。



<新名>

フリーター、フェアトレード担当ボランティア
カンボジアの学生と交流した高校生は、それまでの価値観が覆されるようなショックを受け、視野が広がったようです。交流中の彼らの表情は本当に輝いており、感想文から体験の素晴らしさが伝わります。報告書によってこの事業の意義の深さを知って頂ければと思います。



<敦賀>

香川大学3年

小さなボランティアが作り出す大きな力を実感しています。募金や店舗販売などの小さな努力が、カンボジアの人の自立に繋がることが肌で感じることができました。1人では小さな力だけど、協力が協力を呼び、大きな力になっていることを実感する毎日です。政府ができないことを市民ができる素晴らしさをもっと多くの人に共有してもらいたいです。

学生部「小指会」

皆様のご協力で、3月末までに約200万円の支援金が集まりました。高校建設費は約380万円。不足分はセカンドハンドがサポートしてくれますが、小指会で出来る限り頑張りたいと思っています。それには皆さんの力が必要です。引き続き、ご協力をお願いします！

ご寄付の場合…郵便振替用紙のメモ欄に「小指会」とご記入ください。

春休みに1週間募金を行いました！

皆の力を借りれば出来るかも!と思って、12月に1週間毎日連続で募金を行う「1週間募金」をしたところ、大成功を収めたので、春休みにも実施しました。

3/22~28、募金に立つ人が少ない日もありましたが、一生懸命声を張り上げて頑張りました。計2週間の募金で集まった金額は214,801円。募金して下さった皆さん、本当にありがとうございました！

夏のチャリティーイベント開催決定！

出演者、企画・運営メンバー募集

夏に小指会主催のチャリティーイベントを開催します。1,000人規模のホールを借りて「果して中高生の力で黒字のイベントにできるのか?」という不安もありましたが、それ以上に「カンボジアの友達のために高校を建設したい」という思いから開催を決定しました。

このイベントは出演者も見人も募金をして参加するというもの。得意なことステージに立つて、カンボジアの高校建設にご協力を！

7月30日(日)
サンポートホール高松
大ホール

●出演者募集●

年齢など、制限はありません。歌・ダンス・楽器の演奏・漫才・大道芸などなど、ステージで披露したいという方を募集します。
申込締切:6月10日

●企画・運営委員募集●

企画から参加できるので、やりがい十分です!
日時:毎月第1・3日曜日
14:30~(それ以外の日に集まることもあります)
場所:セカンドハンド本部

このイベントを成功させるのはあなたです。ぜひご連絡ください！

かがわ国際フェスタに出店

事前の準備や当日運営ボランティアを募集中

パイナップルライスとココナッツぜんざいを販売します。昨年は大人気で売切れ。今年も一緒に完売させましょう!

日時:5月27日~28日
(準備は前日の予定)

場所:サンポート高松
テントドーム広場

★お申し込み・お問合せ先:koyubikai@yahoo.co.jp (小指会直通) もしくは、セカンドハンド本部まで

高校建設支援へのご寄付ありがとうございます

協力参加校を紹介します。

カンボジアの学生との交流をきっかけに

「出会った彼等のために何かしたい」と善通寺西、飯山、東、三木(各高校)の皆さんが、登校時、放課後に雪が降る中も募金活動を頑張りました。

岡山県の学校でも

昨年の小指会の定例会に参加し、学校建設支援を知った落合高校生徒会の皆さんが、一年間を通し取り組み、バザーや募金活動を行いました。



吹奏楽定期演奏会会場の一角に置かれた展示と募金箱。

小学生も!

平井小学校の6年生が総合学習の一環で、半年間、バザーや街頭募金、書き損じハガキの収集、コンサートで歌うなど、あらゆる方法で取り組みました。「外国で困っている人のことを知り、僕達と同じように学校に行けるようにしたいと思った」「たくさんの方が協力してくれて嬉しかった」「やる気があれば誰でもできることがわかった」「人に伝えることが大切だと学んだ」と生徒さんたち。先生も「地元の顔が見えるNGOだったので、生徒にとって自分達の活動が支援につながっているという実感がわきやすかった」と話してくれました。



取材を受けてくれた皆さん。

北海道支部

北海道支部5周年記念講演会開催

札幌市中央区民センターで新田代表の講演会を開催しました。北海道新聞を見て参加された初めての方がほとんどで、「知らなかったことがあまりに多く驚いた。知らないことも怖いと思う」「チャリティーバザーから実際に形にして成果を出しているのがすごい」などの感想をいただきました。

札幌駅地下街内でバザーを開催!

4/14~16、ライラックホールで小指会の高校建設を支援するバザーを開きました。当初はスタッフ不足を心配しましたが、講演会に参加した方が協力して下さるなど、高校生や大学生をはじめ、多くのボランティアの力で355,104円の収益金を集めることができました。



ご協力ありがとうございました!!

滝川市国際交流協会のFMラジオ番組に出演! 新田代表と北海道支部の大波さん親子

福岡店

フリーマーケットを行いました!

3月13日に店頭で行いました。大変寒かったのですが、お客さんがいるかと不安でしたが、常連さんを中心にたくさんのお客様に来ていただきました。16,020円の売上になりました。

大量生産、大量消費、ゴミ、環境問題が、地球規模で考えなければならない時代に、セカンドハンドの物を大切に、生かすところが、とても素晴らしいと思っています。(さぬき市 女性)

information

ボランティア スタッフ募集

不足しています。
手伝ってください!

- お店番 レジや店内作業など
- 運搬 荷物の運搬、車の運転など
- 倉庫作業 仕分け作業
- 事務作業

品物提供の受付

春物 5月末まで
夏物 受付中

食器など季節のないものは常時OK

持ち込み:店舗

送付:田村町倉庫

(住所は下記をご覧ください)
(月・水・金曜日の指定で
お願いします)

寄付・募金受付けています!

◎郵便振替口座
01620-6-60029
NPO法人セカンドハンド

◎百十四銀行
田町支店 普通 0833370
特定非営利活動法人
セカンドハンド
理事 新田恭子(ニッタヤスコ)

Second hand Official Supporter (SOS会員) 募集

活動を資金面でサポートしてください!
カンボジアの学生交流事業報告書
無料送付など特典もあります。

①か②どちらか選べます

	①一年一括	②定額自動送金 (毎月)
一般	一口 10,000円	一口 2,000円
団体・企業	一口 30,000円	一口 3,000円

申込方法:①左下の郵便振替口座(同封の用紙利用可)
に「SOS」と書いてお振込みください。
②本部までお問合せください。

集めてます!

- ・書き損じハガキ
(未投函の官製ハガキ)
- ・使用済み切手

周囲を5mm程度残して切るなどの
注意点があります。
詳しくは、本部まで。

昨年度、寄せられた書き損じハガキは
1,137枚分の郵便書簡に、使用済み
切手は14,715円分の支援金になりま
した。ご協力ありがとうございます!

学生対象 カンボジア・ スタディーツアー 参加者募集

日程:8/17~28
→詳しくはp.2参照

平成18年度 総会開催

日程:5月28日
(→詳細P.1)

ニュースレター 発送作業

次回は
7/22(土)・23(日)です。
簡単な作業ですが、
多くの手が必要です。
ぜひ手伝ってください!

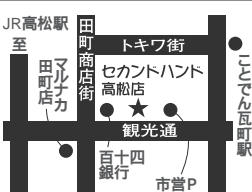
セカンドハンド通信を ネットでGET!

ホームページからダウンロード
可能な方、郵送は必要ない
という方はメールでご一報ください。
発行のお知らせをいたします。

収支報告書は毎月セカンドハンド店頭で掲示しています。

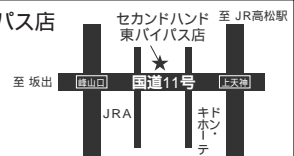
高松店

セカンドハンド本部 3F
高松店 1F
〒760-0055
高松市観光通1-1-18
TEL: 087-861-9928
営業時間:
10:00~19:00



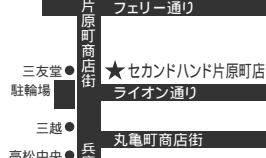
東バイパス店

セカンドハンド東バイパス店
田村町倉庫
〒761-8057
高松市田村町201-1
TEL: 高松店まで
駐車場あり



片原町店

セカンドハンド片原町店
〒760-0040
高松市片原町9-1
TEL: 087-822-3552
営業時間:
10:00~19:00



福岡店

セカンドハンド福岡店
〒814-0131
福岡市城南区松山2-7-15
TEL&FAX: 092-871-5760
(E-mail) spica45970@s7.dion.ne.jp
営業時間: 月・木 11:00~15:00



丸亀店

セカンドハンド丸亀店
〒763-0021
丸亀市富屋町30-1
TEL: 0877-25-2876
営業時間:
火・水 11:00~13:00
木 11:00~16:00
ボランティアスタッフ不足のため営業時間が不定です



支 部

セカンドハンド川口支部
責任者 早船 TEL&FAX: 048-294-1576
(E-mail) n-hayafune522@kdd.biglobe.ne.jp
ホームページ http://www.its-s.jp/2nd-hand
セカンドハンド大阪支部
徳 090-6241-3768
(E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp
セカンドハンド北海道支部
大波 Tel:090-2695-9390 Fax:011-785-2311
(E-mail) satomie@seagreen.ocn.ne.jp

このニュースレターは3ヶ月に一度5500部発行しています。封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、約4800部を全国の支援者へ無料で発送しています。
購読ご希望の方は、ハガキ、FAX、メールなどでお申し込み下さい。